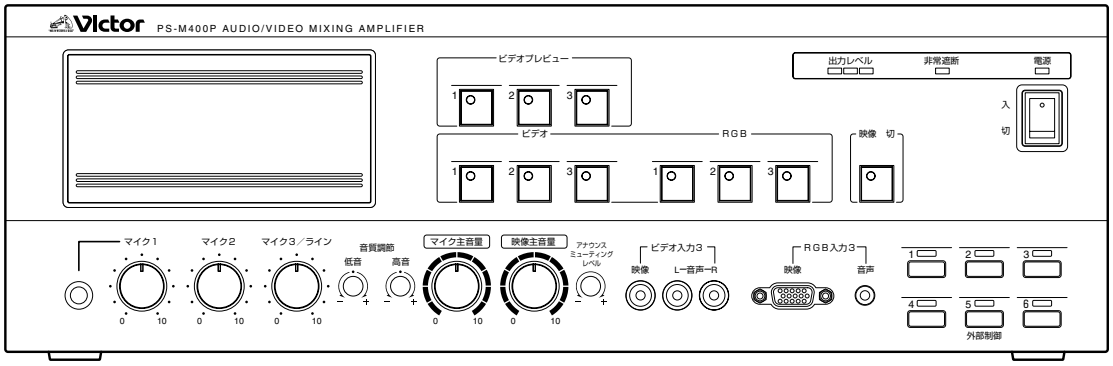
AV ミキシングアンプ

型名 PS-M400P

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

お客様へ：
本書には、設置に関する記載がされておりますが、設置は必ず専門の業者にお任せください。

LST0683-001A

特長

オールインワンの簡単操作

ビデオ入力３系統、RGB 入力３系統の AV ソース切り換えと、マイク３本、ワイヤレスマイク２本（別売のワイヤレスチューナーを使用時）の拡声および外部機器の制御を本機１台で簡単に操作できます。

ワイヤレスチューナーを実装可能

別売のワイヤレスチューナー（WT-UD80）を搭載することにより、システムアップを図ることができます。
（最大２チャンネル）

マイク入力に電子平衡入力回路を採用

マイク入力に電子平衡入力回路を採用しており、マイクコードの延長によるノイズの発生を低減できます。

前面にマイク入力端子を装備

本機前面にマイク入力端子を装備しており、簡単にマイクを接続することができます。

100 W + 100 W のステレオアンプを内蔵

教室や視聴覚室、会議室で使用する場合、本機１台でメインスピーカー（L/R）を運用できます。

外部機器制御出力端子を 6 回路、映像選択制御出力端子を 3 回路搭載

マイク優先機能を装備

マイク放送時に、外部機器からの音量を自動的に下げ、より聞きやすいマイク放送ができます。

非常放送時の放送遮断が可能

非常用放送設備と接続することにより、非常放送時の放送遮断ができます。

マイクインサーション端子を装備

イコライザーやプロセッサーなどを接続し、マイク系統の音質を調節することができます。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　：操作上の注意が書かれています。

メモ　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　：参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

もくじ

はじめに

特長 2
もくじ 3
安全上のご注意 4
正しくお使いいただくためのご注意 5
各部の名称とはたらき 6

準備

接続のしかた 10
ハイインピーダンススピーカーを接続する 11
ワイヤレスチューナーユニット（別売）を取り付ける 12
操作前の準備 14

基本操作

操作例 15

その他

ブロックダイヤグラム 16
こんなときは 17
保証とアフターサービス 18
仕様 19

安全上のご注意

⚠警告

異常時は電源プラグをぬく

万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、またはブレーカーを切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

組み込みや接続は販売店に依頼する

オプション機器の組み込みや背面端子盤への接続を誤ると、感電や火災事故の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

本機の上面・側面・底面にある通風孔は、内部の熱を逃がす重要な穴です。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となります。

⚠注意

長時間使用しないときは、電源プラグをぬく

本機は電源スイッチを切ってもわずかに電気が流れています。長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

機器を重ねて使用しない

お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。本機を横倒し、逆さま、あお向けの状態で使用しないでください。

動作中はトップカバー通風孔に触らない

本機の動作中は、トップカバーの通風孔周辺が熱くなります。

本機の上に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、壊れたりしてケガの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。

本機の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

内部に物を入れない

通風孔などから、金属類や燃えやすいものが入ると火災や感電の原因となります。

正しくお使いいただくためのご注意

本機は、非常用放送設備としては使用できません。

保管および使用場所

● 次のような場所に置かない

誤動作や故障の原因となります。

- 許容動作温度（5 ℃ ～ 35 ℃ ）範囲外の暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度（10 %RH ～ 90 %RH）範囲外の湿気の多いところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 厨房など蒸気や油分の多いところ
- 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

● 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

● 本機の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

● 内部に物を入れない

通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。

● オプション機器の組み込みや接続には、技術を必要とする場合があります。

オプション機器の組み込みや接続を誤ると、感電や火災の原因となることがあります。必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。

● 電力線と入力信号線はできるだけ離して接続する

電源コードやスピーカー線などの電力線とマイクケーブルなどの入力信号線を近づけると、機器の動作が不安定になり、動作不良の原因となります。

マイクの使用について

● アンバランス（不平衡）タイプのマイクを 5 m 以上延長すると、ハム雑音（ブーンという音）や調光ノイズなどの影響を受けやすくなります。マイクケーブルを延長する場合は、バランス（平衡）タイプのマイクをご使用ください。

詳しくは、マイクの取扱説明書をご覧ください。

接続について

● スピーカー出力端子への接続は、電源を切ってから行なってください。本機のスピーカー出力端子には、無信号時も電圧が出力されています。

● 端子盤の [+24V 出力] 端子は、[RB+ 入力] 端子との接続専用です。他の用途には使用しないでください。

移動について

● 移動するときは接続コード類を外す

移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

お手入れについて

● お手入れするときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

省エネについて

● 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

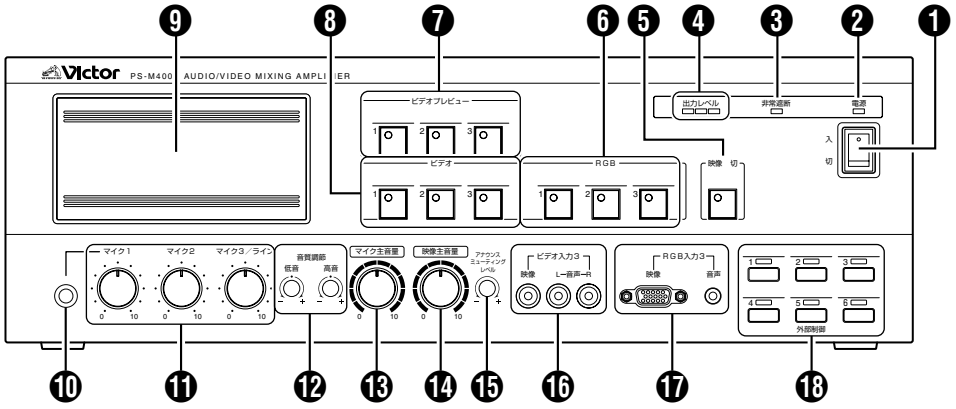
その他

● 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。

● 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。

各部の名称とはたらき

前面



❶［入／切 ］電源スイッチ

電源の「入 / 切」をするスイッチです。“ 入 ” 側を押すと電源が入り、３～４秒後に使用できる状態になります。

背面の [電源起動] 端子を使用して電源を入れたときは、このスイッチで電源を切ることはできません。

❷［電源］電源表示灯

電源が入っているとき、緑色に点灯します。

❸［非常遮断］非常遮断表示灯

点灯時 ：非常放送設備と接続して使用した場合に、非常放送設備が非常起動しています。点灯中は本機からの音声が出力されません。
（消防法で定められています。）

点滅時 ：電源を入れたとき（3 ～ 4 秒間）や本機の保護回路が作動しています。点滅中は音声が出力されません。

❹［出力レベル］出力音量レベル表示灯

出力音量の大きさを表示します。

メモ：

- 表示灯が赤く点灯しないように、各音量調節つまみで調節してください。

❺［映像 切］映像切りボタンおよび表示灯

❻ または ❽ で選択した映像･音声出力を切断します。表示灯が点灯しているときは、映像入力の映像と音声が出力されません。

メモ：

- 映像･音声を出力するときは、再度 ❻ [RGB1 ～ 3] または ❽ [ビデオ 1 ～ 3] ボタンで映像・音声を選択してください。

❻［RGB1 ～ 3］RGB1 ～ 3選択ボタンおよび表示灯

RGB 入力 1 ～ 3 より､背面の [RGB 出力] 端子および [スピーカー出力] 端子に出力する映像･音声を選択します｡選択したボタンの表示灯が点灯します。

ビデオ入力と RGB 入力を同時に選択、出力することはできません。

❼［ビデオプレビュー1 ～ 3］ビデオプレビュー1 ～ 3選択ボタンおよび表示灯

ビデオ入力 1 ～ 3 より、背面の [ビデオプレビュー] 端子に出力する映像を選択します。選択したボタンの表示灯が点灯します。音声は出力されません。

❽［ビデオ1～3］ビデオ1～3選択ボタンおよび表示灯

ビデオ入力 1 ～ 3 より、背面の [ビデオ出力] 端子および [スピーカー出力] 端子に出力する映像・音声を選択します。選択したボタンの表示灯が点灯します。

ビデオ入力と RGB 入力を同時に選択、出力することはできません。

メモ：

- 必要に応じて、添付の機器名シールを貼ってご使用ください。

❾ ブランクパネル（オプション機器取り付けスペース）

ブランクパネルをはずして、ワイヤレスチューナーパネル（別売）を取り付けます。(☞ 12 ページ)

❿［マイク 1］マイク 1 入力端子

（– 60 dBs、電子平衡、複式フォンジャック）
マイクを接続します。

⓫ [マイク 1、2、3 ／ライン] マイク 1、2、3 ／ライン音量調節つまみ

前面および背面の [マイク 1、2、3 ／ライン] 端子からの入力音量を個別に調節します。

使用しない調節つまみは、最小位置 “0” にしてください。

⓬ [音質調節 低音／高音] 低音／高音調節ボリューム

低音および高音を個別に調節し、聞きやすい音質にします。

⓭ [マイク主音量] マイク主音量調節つまみ

マイク 1 ～ 3 とワイヤレスマイク 1 ～ 2（別売）の主音量を調節します。

⓮ [映像主音量] 映像主音量調節つまみ

ビデオ 1 ～ 3 と RGB1 ～ 3 の主音量を調節します。

⓯ [アナウンスミューティングレベル] ミューティングレベル調節ボリューム

マイク 1 ～ 3、ワイヤレスマイク 1 ～ 2（別売）に音声信号が入ると、❻ または ❽ で選択した機器の音声が自動的に小さくなるアナウンスミューティング（マイク優先機能）の効果度合いを調節します。

“ － ” 側に回すほどその効果が大きくなり、“ – ” 側に回しきったときは約 30 dB 小さくなります。マイク優先機能を使用しない場合は、“ ＋ ” 側に回しきっておいてください。(☞ 14 ページ)

⓰ [ビデオ入力 3 映像・音声 L/R] ビデオ 3 映像・音声入力端子

(映像 : 1 Vp-p、75 Ω、RCA ピンジャック、音声 : – 10 dBs、不平衡、RCA ピンジャック L/R)

ビデオカメラ、ゲーム機器、ポータブルオーディオなどの AV 機器を接続します。

⓱ [RGB 入力 3 映像・音声] RGB3 映像・音声入力端子

(映像 : 0.7 Vp-p、75 Ω、D-SUB 15 ピン、音声 : – 10 dBs、不平衡、ステレオミニジャック)

ノートパソコンなどの RGB 映像出力をもつ AV 機器を接続します。

⓲ [外部制御1～6] 外部制御1～6選択ボタンおよび表示灯

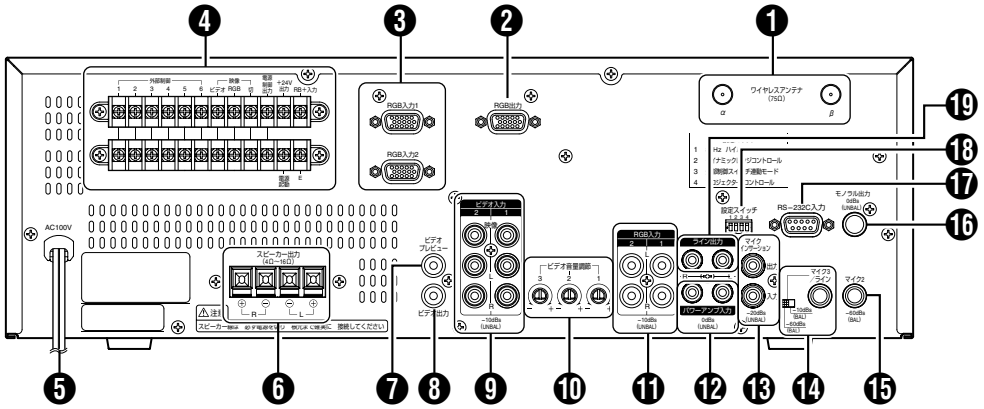
背面の [外部制御 1 ～ 6] 端子より、動作させたい外部制御端子を選択します。動作時、選択したボタンの表示灯が点灯します。外部制御方法は、背面の [設定スイッチ 3、4] により変更できます。(☞ 9 ページ)

メモ :

- 必要に応じて、添付の機器名シールを貼ってご使用ください。

各部の名称とはたらき (つづき)

背面



❶ [ワイヤレスアンテナ] ワイヤレスアンテナ取り付け部

別売のワイヤレスチューナーパネルを取り付けた場合に使用できます。(☞ 12 ページ)

❷ [RGB 出力] RGB 出力端子

(RGB 0.7 Vp-p、75 Ω、D-SUB15 ピン)
前面の [RGB1 ～ 3] ボタンで選択された RGB 映像が出力されます。プロジェクターやモニターなどの RGB 映像入力をもつ機器と接続します。

❸ [RGB 入力 1、2] RGB1、2 入力端子

(RGB 0.7 Vp-p、75 Ω、D-SUB15 ピン)
パソコンなどの RGB 映像出力をもつ AV 機器と接続します。音声は ⓫ に接続します。

❹ 端子盤

● [RB+ 入力] RB+ 入力

非常放送時の音声遮断機能を使用するときに、非常放送設備と接続します。通常は [+24V 出力] 端子と接続します。

● [+24V 出力] +24V 出力

本機の電源「入」に連動して +24 V を出力します。
通常は [RB+ 入力] 端子と接続します。

ご注意 :

- [RB+ 入力] 端子との接続専用端子です。他の用途には使用しないでください。

● [電源制御出力] 電源制御出力端子

(最大定格 30 V、100 mA)
本機の電源「入」に連動して端子間を短絡（メイク）します（電源「切」のとき、端子間は開放状態です)。電源が入っている間、端子間は短絡されます。本機周辺機器の制御に利用します。

● [映像 ビデオ・RGB・切] 映像選択制御出力端子 (ビデオ・RGB・映像 切)

(最大定格 30 V、100 mA)
前面の ❺ 映像切ボタン、❻ RGB 選択ボタン 、❽ ビデオ選択ボタンに連動して、対応した端子間が 500 msec 短絡します（通常、端子間は開放状態です)。プロジェクターやモニターの制御に利用します。

● [外部制御 1 ～ 6] 外部制御出力 1 ～ 6 端子

(最大定格 30 V、100 mA)
前面の ⓲ 外部制御選択ボタンで選択すると、選択された端子間が 500 msec 短絡します（通常、端子間は開放状態です)。背面の ⓲[設定スイッチ 3] を “ON” にしたときは、端子間の短絡を保持します。
背面の [設定スイッチ 3、4] にて制御方法を変更できます。(☞ 9 ページ)

● [電源起動] 電源起動入力端子

[E] 端子と接続すると、本機の電源が入ります。
[+24V 出力] 端子には接続しないでください。

● [E] E 端子

アース端子です。[RB+ 入力]、[電源起動] の制御入出力端子のコモン端子として使用します。

❺ 電源コード

商用電源 AC 100 V 50 Hz / 60 Hz に接続します。

❻ [スピーカー出力] スピーカー出力端子

スピーカーを接続します。4 Ω ～ 16 Ω のスピーカーが接続可能です。

ご注意 :

- スピーカー出力端子への接続は、電源を切ってから行なってください。本機のスピーカー出力端子には、無信号時も電圧が出力されています。
- 適応インピーダンス以外のスピーカーを接続しないでください。火災・故障の原因となることがあります。また、本来の性能を得られません。
- スピーカー出力の並列接続はできません。
- スピーカー出力端子の ⊖ 側にも信号が出力されます。アースには接続しないでください。また、⊖ どうしを接続しないでください。

❼ [ビデオプレビュー] ビデオプレビュー出力端子

(1 Vp-p、75 Ω、RCA ピンジャック)
前面の ❼ [ビデオプレビュー 1 ～ 3] ボタンで選択されたビデオ映像が出力されます。映像確認用の小型モニターなどと接続します。

❽ [ビデオ出力] ビデオ出力端子

(1 Vp-p、75 Ω、RCA ピンジャック)
前面の ❽[ビデオ 1 ～ 3] ボタンで選択されたビデオ映像が出力されます。プロジェクターやモニターなどと接続します。

❾ [ビデオ入力 1、2　映像・L/R] ビデオ 1、2 映像・音声入力端子

(映像 : 1 Vp-p、75 Ω、RCA ピンジャック、音声 : – 10 dBs、不平衡、RCA ピンジャック L/R)
ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの AV 機器を接続します。

❿ [ビデオ音量調節 1 ～ 3] ビデオ音量調節 1 ～ 3 ボリューム

ビデオ入力 1 ～ 3 端子に接続した AV 機器の音量差が大きいときに使用します。音の小さな機器に合わせて、音の大きな機器の音量を小さくなるように調節します。“ － ” 側に回すほど音量が小さくなります。通常は、“ ＋ ” 側に回しきった状態で使用します。

⓫ [RGB 入力 1、2　L/R] RGB1、2 音声入力端子

(– 10 dBs、不平衡、RCA ピンジャック L/R)
パソコンなどの RGB 出力をもつ AV 機器の音声出力を接続します。映像は ❸ に接続します。

⓬ [パワーアンプ入力] パワーアンプ入力端子

(0 dBs、不平衡、RCA ピンジャック L/R)
⓳ [ライン出力] 端子と組み合わせて、グラフィックイコライザーやプロセッサーを接続します。この端子に接続すると本機内の信号が遮断され、この端子に入力した信号がスピーカー出力端子に出力されます。

⓭ [マイクインサーション 入力・出力] マイクインサーション入力・出力端子

(– 20 dBs、不平衡、RCA ピンジャック)
イコライザーやプロセッサーなど、マイク系統の音質を調節する機器を接続します。

⓮ [マイク 3 ／ライン – 60dBs/ – 10dBs] マイク 3 ／ライン入力端子および入力感度切り換えスイッチ

(– 60 dBs / – 10 dBs、平衡、複式フォンジャック)
マイクまたは増設ミキサーや CD プレーヤーなどの外部機器を接続します。マイクを接続するときは “ – 60 dBs” に設定し、外部機器を接続するときは “ – 10 dBs” に設定します。

⓯ [マイク 2] マイク 2 入力端子

(– 60 dBs、平衡、複式フォンジャック)
マイクを接続します。

⓰ [モノラル出力] モノラル出力端子

(0 dBs、不平衡、RCA ピンジャック)
スピーカー出力と同じ信号が左右ミックスして出力されます。天井スピーカー用の外部増設アンプなどに接続します。

⓱ [RS-232C 入力] RS-232C 端子

(D-SUB 9 ピン、オス)
パソコンなどから本機を制御するときに使用します。制御可能な機能は次の通りです。

- 前面 ❺ 映像切りボタンの機能
- 前面 ❻ RGB 選択ボタンの機能
- 前面 ❼ ビデオプレビュー選択ボタンの機能
- 前面 ❽ ビデオ選択ボタンの機能
- マイク系統の音量調整
- スピーカー出力の音量調整

メモ :

- 接続には特殊な技術を必要としますので、お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にご依頼ください。

⓲ [設定スイッチ 1 ～ 4] 設定スイッチ 1 ～ 4

各種機能を設定するスイッチです。通常はすべて OFF で使用します。スイッチ 1 ～ 4 の機能は次の通りです。

● スイッチ 1 : 80 Hz ハイパスフィルター

ハイインピーダンストランスユニットを接続して、ハイインピーダンススピーカーを使用するとき、ON にします。(☞ 11 ページ)

● スイッチ 2 : ダイナミックレンジコントロール

エキスパンダーとコンプレッサーを有効にするとき、ON にします。ON にすると、大きな音のときは小さく、小さな音のときは大きくして聞き取りやすくします。

● スイッチ 3 : 外部制御スイッチ連動モード

スイッチ 3 を ON にすると、外部制御 1 ～ 3 と外部制御 4 ～ 6 が 2 つのグループに分かれます。それぞれのグループ内で最後に押したボタンの外部制御がオンになり、同時にそれまでオンしていた外部制御がオフになります。また、このモードのときだけ外部制御はオンを保持します (このモード以外は 500 msec だけオンします)。

● スイッチ 4 : プロジェクターコントロール

スイッチ 4 を ON にすると、[外部制御 4 ～ 6] 選択ボタンが無効になります。外部制御端子 4 は本機の電源「入」に連動してオンし、外部制御端子 5 は本機の電源「切」に連動してオンになります。プロジェクターを使用する際、プロジェクターの電源「入 / 切」の制御に便利です。

また、外部制御端子 6 は RGB2 選択ボタンに連動します。コンポーネント映像を本機の RGB2 入力端子へ接続し、プロジェクターの入力切り換えを制御するときに便利です。本機にコンポーネント映像を接続する場合、特殊なケーブルを必要とします。お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にご依頼ください。

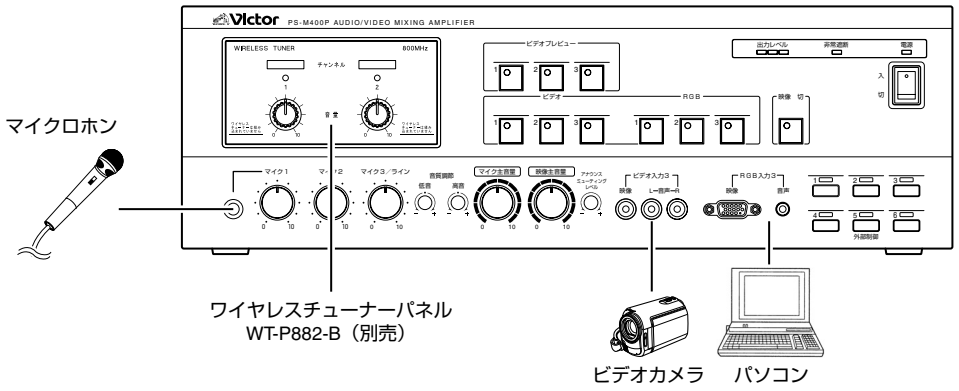
⓳ [ライン出力] ライン出力端子

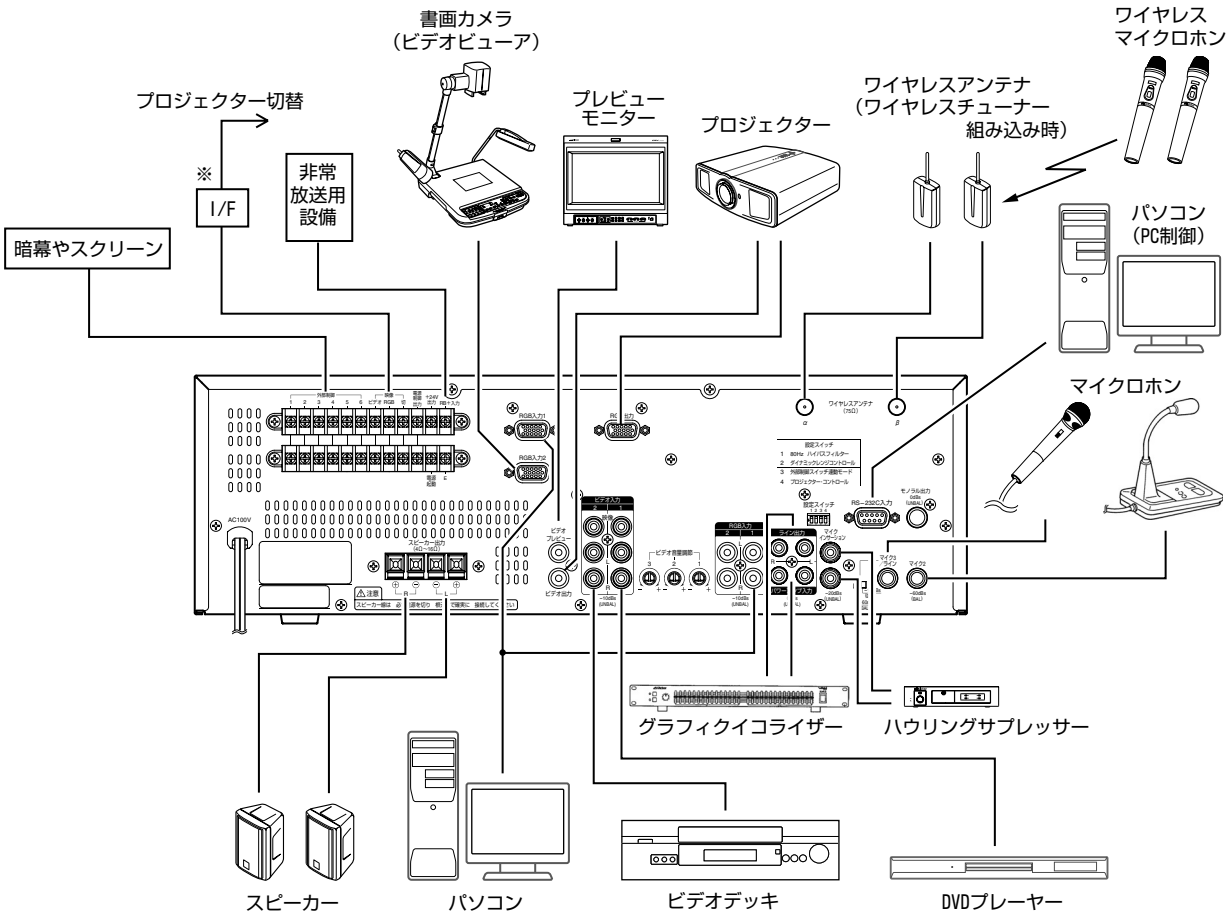
(0 dBs、不平衡、RCA ピンジャック L/R)
スピーカー出力と同じ信号が出力されます。
⓬ [パワーアンプ入力] 端子と組み合わせて、グラフィックイコライザーやプロセッサーを接続します。

接続のしかた

周辺機器やオプション機器の接続および取り付けには、特殊な技術を必要とします。お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にご依頼ください。

代表的な機器の接続例です。





メモ：

- 接続する場合は、接続機器の「取扱説明書」もご覧ください。
- EIA ラックマウントに設置できます。設置する場合、別売のラックマウント金具 PS-RU13(3U) を使用します。

※ プロジェクターなどの入力切換を本機からシリアル制御で行う場合は、メーク／シリアル信号変換ユニットなどのインターフェースをご使用ください。

ご注意：

- 本機を EIA ラックに設置する場合、放熱効果を良くするため、本機の上下にベンチレートパネル（PS-RU01V）を取り付けてください。

■ 接続時の注意事項

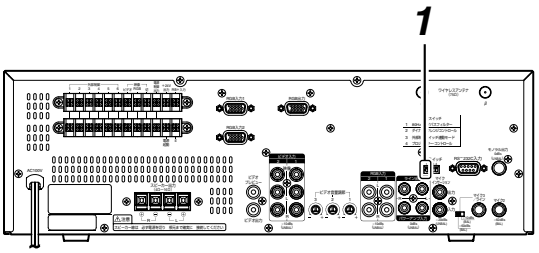
- マイクケーブルが長い（5 m 以上）場合、ハム音などが発生しやすくなります。必ずバランス（平衡）型のマイクをご使用ください。
- ビデオ映像ケーブルおよび RGB 映像ケーブルは、使用する解像度に対応したケーブルを使用してください。特に RGB 映像ケーブルは複合同軸ケーブルを使用し、高解像度表示に対応したものをご使用ください。
- ビデオ映像信号および RGB 映像信号は、接続ケーブルの長さ、中継・変換数、ケーブル周辺のノイズ環境などにより劣化の度合が異なります。10 m を越える接続を行う場合や複雑な配線を行うときは、事前に十分なテストを行い確認してください。
- ハム音やノイズの発生、および機器の不安定な動作を避けるため、電力コード、入力ケーブル、制御ケーブルはそれぞれ 10 cm 以上離して接続・設置してください。
  - 電力コード　：電源コードやスピーカーコードなど
  - 入力ケーブル：マイクケーブルや映像・音声ケーブルなど
  - 制御ケーブル：外部制御ケーブル（またはコード）や RS-232C ケーブル

ハイインピーダンススピーカーを接続する

本機にハイインピーダンストランスユニット（PS-TU20）を接続します。

本機の設定

1 **背面の [設定スイッチ 1]（80 Hz ハイパスフィルター）を “ON” にする（設定は設置業者にお任せください）**

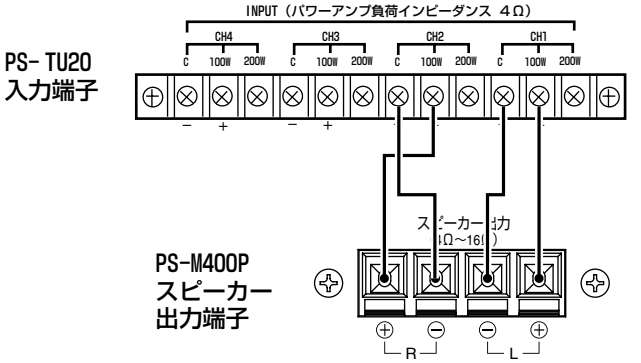


ご注意：

- 本機にハイインピーダンストランスユニットを接続して使用する場合は、必ず [設定スイッチ 1]（80 Hz ハイパスフィルター）を “ON” にしてください。設定を行わないと、故障の原因となります。
  詳しくは、お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

接続

本機のスピーカー出力 “+” 端子と PS-TU20 の [100W] 端子、本機のスピーカー出力 “ − ” 端子と PS-TU20 の [C] 端子を接続します。



ご注意：

- スピーカー出力端子への接続は、電源を切ってから行なってください。本機のスピーカー出力端子には、無信号時も電圧が出力されています。
- PS-TU20 の出力が 100 V を超えないように、本機の各ボリュームで出力レベルを調節してください。

ワイヤレスチューナーユニット（別売）を取り付ける

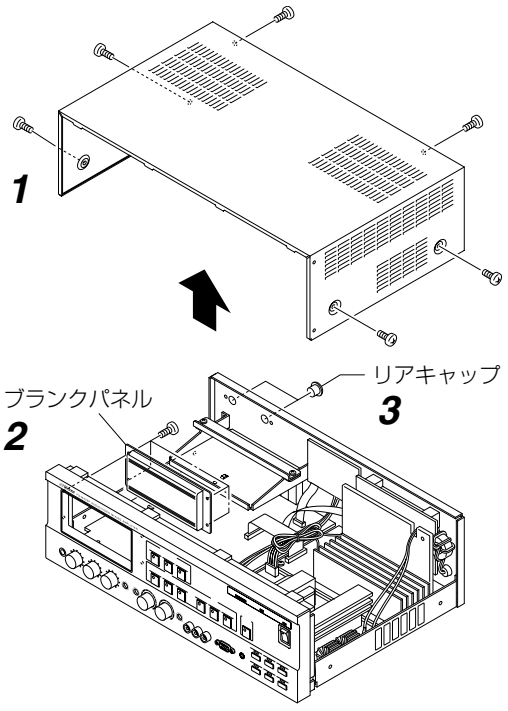
本機には、ワイヤレスチューナーパネル (WT-P882-B)1台とチューナーユニット (WT-UD80) を2台まで組み込むことができます。

ご注意：
- 以下の作業は、電源コードをコンセントへ差し込む前に行なってください。

1 **ねじ 6 本をはずし、カバーをはずす**

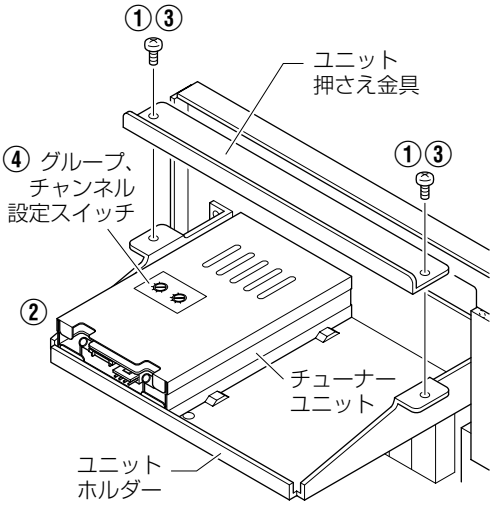
2 **ネジ 4 本をはずし、ブランクパネルをはずす**

3 **リアキャップ 2 個をはずす**



4 **チューナーユニット (WT-UD80) を取り付ける**

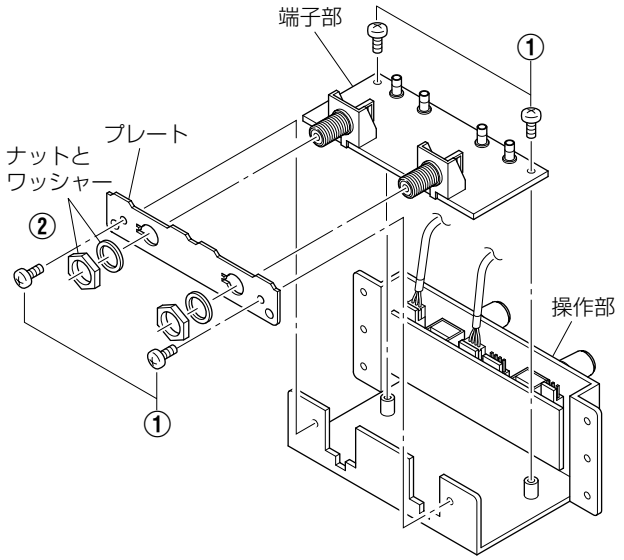
① ねじ 2 本をはずし、ユニット押さえ金具をはずす
② チューナーユニットを下図の向きで、ユニットホルダーの上に置く
③ ユニット押さえ金具と ① ではずしたねじ 2 本で、チューナーユニットを固定する
④ グループとチャンネルを合わせる
(☞ WT-UD80「取扱説明書」)



メモ：
- チューナーユニットを2台取り付ける場合は、2台目も同じ手順で取り付けてください。

5 **ワイヤレスチューナーパネル (WT-P882-B) を分ける**

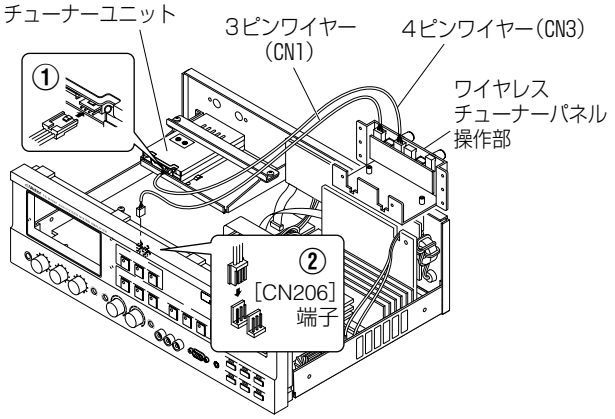
① ねじ 4 本をはずし、操作部と端子部に分ける
② ナットとワッシャーをはずし、端子部からプレートをはずす



6 操作部と本機をワイヤーで接続する

① 操作部 [CN3] からの 4 ピンワイヤーを、チューナーユニットに接続する

② 操作部 [CN1] からの 3 ピンワイヤーを、本機の [CN206] 端子に接続する



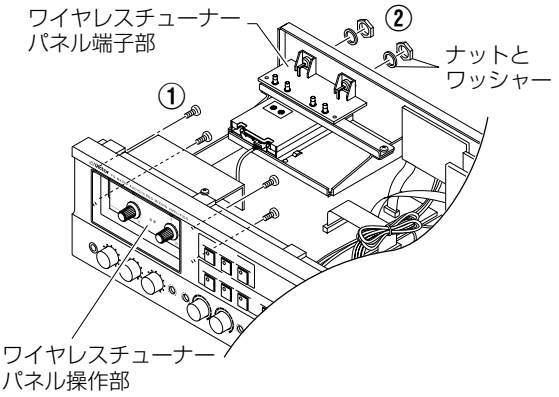
メモ :

- チューナーユニットを2台取り付ける場合は、操作部 [CN4] からの 4 ピンワイヤーをチューナーユニットへ、[CN2] からの 3 ピンワイヤーを本機の [CN205] 端子へ接続します。

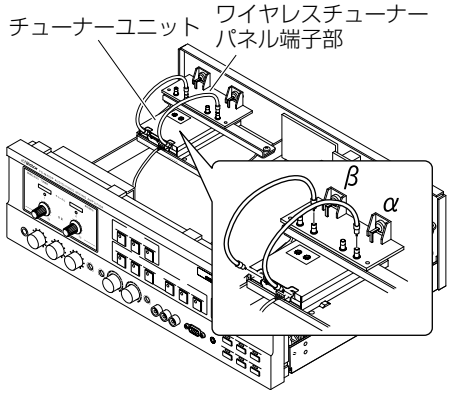
7 操作部と端子部を本機に取り付ける

① 手順 ***2*** ではずしたねじ 4 本で、操作部を本機に取り付ける

② 手順 ***5*** の② ではずしたナットとワッシャーで、端子部を本機に取り付ける

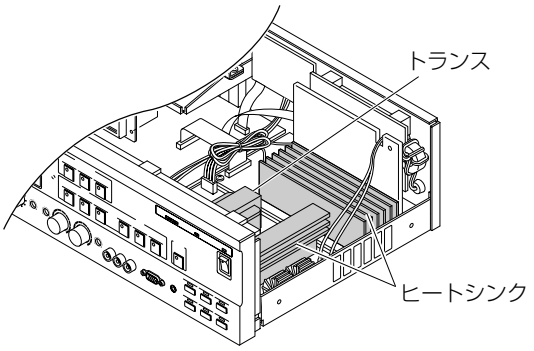


8 端子部とチューナーユニットを WT-UD80 に付属のアンテナケーブルで接続する



9 ワイヤーを束ねる

ワイヤーがトランスやヒートシンクなどの発熱部に接していないことを確認してください。



メモ :

- チューナーユニットを 1 台のみ取り付けたときは、使用しないワイヤー（操作部 CN2、CN4）をワイヤークランプで束ねてください。

10 アンテナを接続する

背面のアンテナ端子とワイヤレスアンテナを同軸ケーブルで接続します。

11 カバーを取り付ける

カバーのみを取り付けます。

12 確認する

カバーを固定する前に、ワイヤレスマイクの受信確認を行います。

ご注意 :

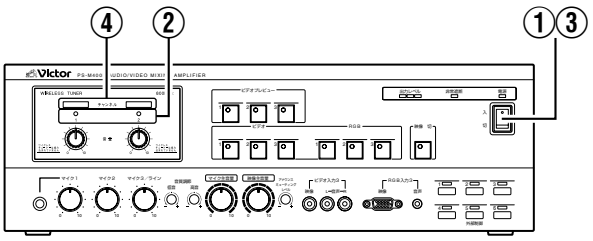
- カバーはねじで固定されていません。電源を入れたあとの確認作業を行う際、誤って内部の部品などに触らないでください。感電の原因になります。

① 本機の電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

② ワイヤレスマイクの電源を入れ、受信ランプが点灯していることと、スピーカーから音が正しく出ていることを確認する

③ 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

④ ワイヤレスチューナーパネルに、WT-UD80 に添付のチャンネルラベルを貼る
- 手順 ***4*** で合わせたグループとチャンネルの表示ラベルを貼ります。



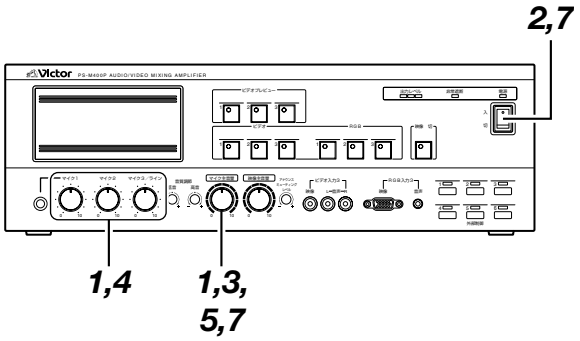
13 カバーを固定する

手順 ***1*** ではずしたねじ 6 本で、カバーを固定します。

操作前の準備

ご使用前に次の要領で各つまみを調節してください

マイク音量の設定



1 各マイクの入力音量つまみと[マイク主音量]つまみを最小にする

2 電源を入れる

3 [マイク主音量] つまみを中央まで回す

4 音声を出しながら各マイクの入力音量つまみを調節する

メモ :

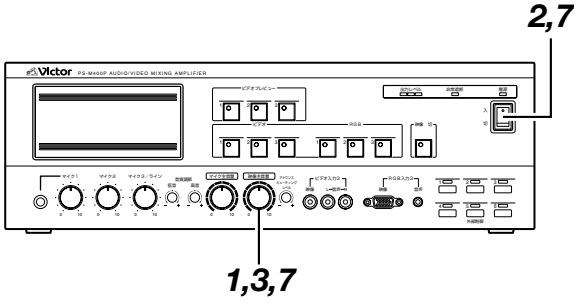
- 使用しないマイクの入力音量つまみは、最小にしておいてください。

5 音が小さすぎる、または大きすぎるときは、[マイク主音量] つまみも調節する

6 音量が適切なときの [マイク主音量] つまみの位置を、メモなどに記録する

7 調節が終わったら、[マイク主音量] つまみを最小にして電源を切る

ビデオ 1 ～ 3、RGB1 ～ 3 の音量設定



1 [映像主音量] つまみを最小にする

2 電源を入れる

3 [ビデオ 1] に接続したAV機器を再生しながら、適切な音量になるまで [映像主音量] つまみを右に回す

4 音量が適切なときのつまみ位置を、メモなどに記録する

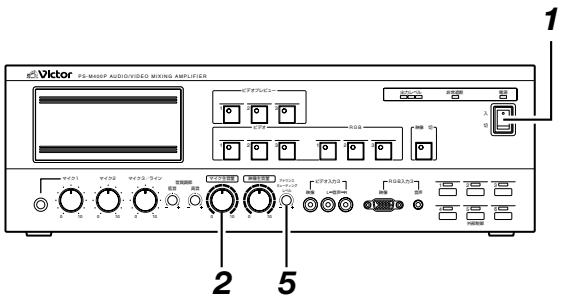
5 同様に、ビデオ 2、ビデオ 3、RGB1 ～ 3 についても行い、音量が最適なときのつまみ位置を記録する

6 最適となるつまみ位置が大きく異なる場合は、[映像主音量] つまみの位置が同じになるように次の調節を行う

- ビデオ 1 ～ 3 : 背面の[ビデオ音量調節 1 ～ 3]ボリュームを調節する
- RGB1 ～ 3 : パソコンなど接続機器の出力音量を調節する

7 調整が終わったら、[映像主音量] つまみを最小にして電源を切る

マイク優先機能の設定



1 電源を入れる

2 [マイク主音量] つまみ、[映像主音量] つまみを設定した位置に合わせる

3 [ビデオ 1 ～ 3] または [RGB1 ～ 3] に接続したAV機器を再生して音を出す

4 マイク 1 ～ 3（またはワイヤレスマイク 1、2）のマイクで放送する

5 [アナウンスミューティングレベル] 調節ボリュームを回し、AV 機器の音量の減衰量を調節する

ご注意 :

- 音量の設定は、出力レベル表示灯が赤く点灯しないように、それぞれの音量調節ボリュームで調節してください。

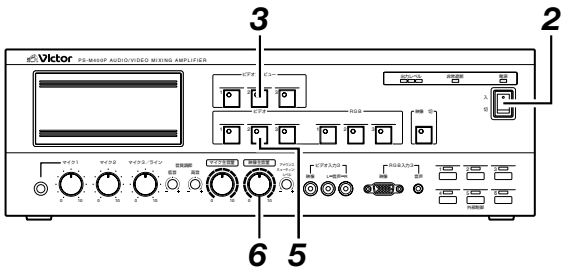
メモ :

- ボリュームを " － " 側に回すほど、AV 機器の音量の減衰量が大きくなり、マイク使用時の AV 機器の音量がしぼられます。
- この機能を使用しないときは、つまみを " ＋ " 側に回しきっておいてください。

操作例

ここでは、本機の [ビデオ入力 2、3] および [RGB 入力 1] 端子に接続した AV 機器を順番に再生し、[マイク 1] 端子に接続したマイクを使用したときの操作例を説明します。

■ ビデオ入力 2 に接続した DVD 機器を再生する



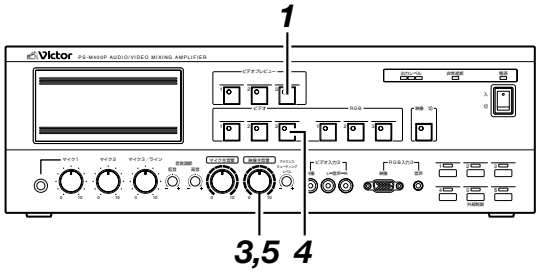
1 本機に接続したすべての AV 機器の電源を入れる
2 本機の電源を入れる
3 [ビデオプレビュー] 選択ボタンで、DVD 機器を接続したビデオ 2 を選択する
4 DVD 機器を再生する

メモ :

- [ビデオプレビュー]端子にはDVD機器の再生映像が出力されますが、[ビデオ出力] 端子からは出力されません。
- 再生内容を確認後、初めから再生したいときは、再生開始の頭出しをします。

5 DVD の確認・準備ができたら、[ビデオ] 選択ボタンでビデオ 2 を選択する
6 [映像主音量] つまみを右に回して、音量を調節する

■ ビデオ 3 入力に接続したビデオカメラを再生する



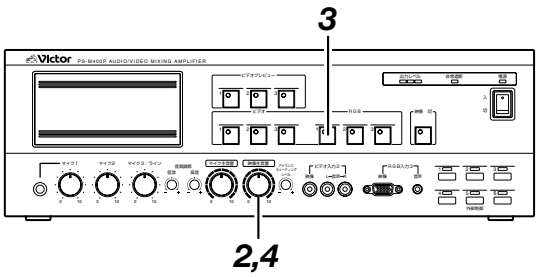
1 [ビデオプレビュー] 選択ボタンで、ビデオカメラを接続したビデオ 3 を選択する
2 ビデオカメラを再生する
プレビューモニター画面で再生内容を確認します。

メモ :

- [ビデオプレビュー]端子にはビデオカメラの再生映像が出力されますが、[ビデオ出力] 端子および [スピーカー出力] 端子には DVD 機器の再生映像・音声が出力されたままになります。
- 再生内容を確認後、初めから再生したいときは、再生開始の頭出しをします。

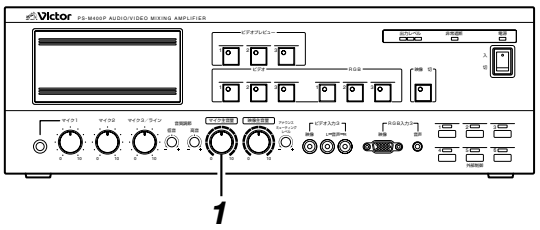
3 ビデオカメラの確認・準備ができたら、本機の [映像主音量] つまみを下げる（左に回す）
4 [ビデオ] 選択ボタンで、ビデオカメラを接続したビデオ 3 を選択する
5 [映像主音量] つまみを右に回して、音量を調節する

■ RGB1 入力に接続したパソコンを再生する



1 パソコンのモニター画面で再生内容を確認・準備する
2 パソコンの準備ができたら、本機の [映像主音量] つまみを下げる（左に回す）
3 [RGB] 選択ボタンで、パソコンを接続した RGB1 を選択する
4 [映像主音量] つまみを右に回して、音量を調節する

■ マイク 1 に接続したマイクで話す

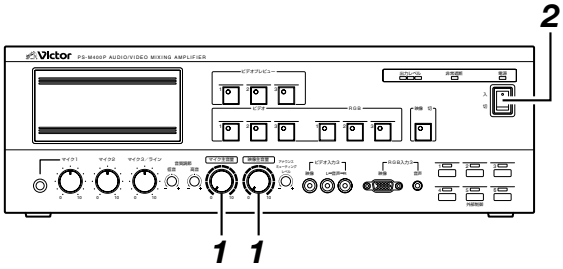


1 [マイク主音量] つまみを、「マイク音量の設定」で調節した位置にする (☞ 14 ページ)
2 マイクで話す

メモ :

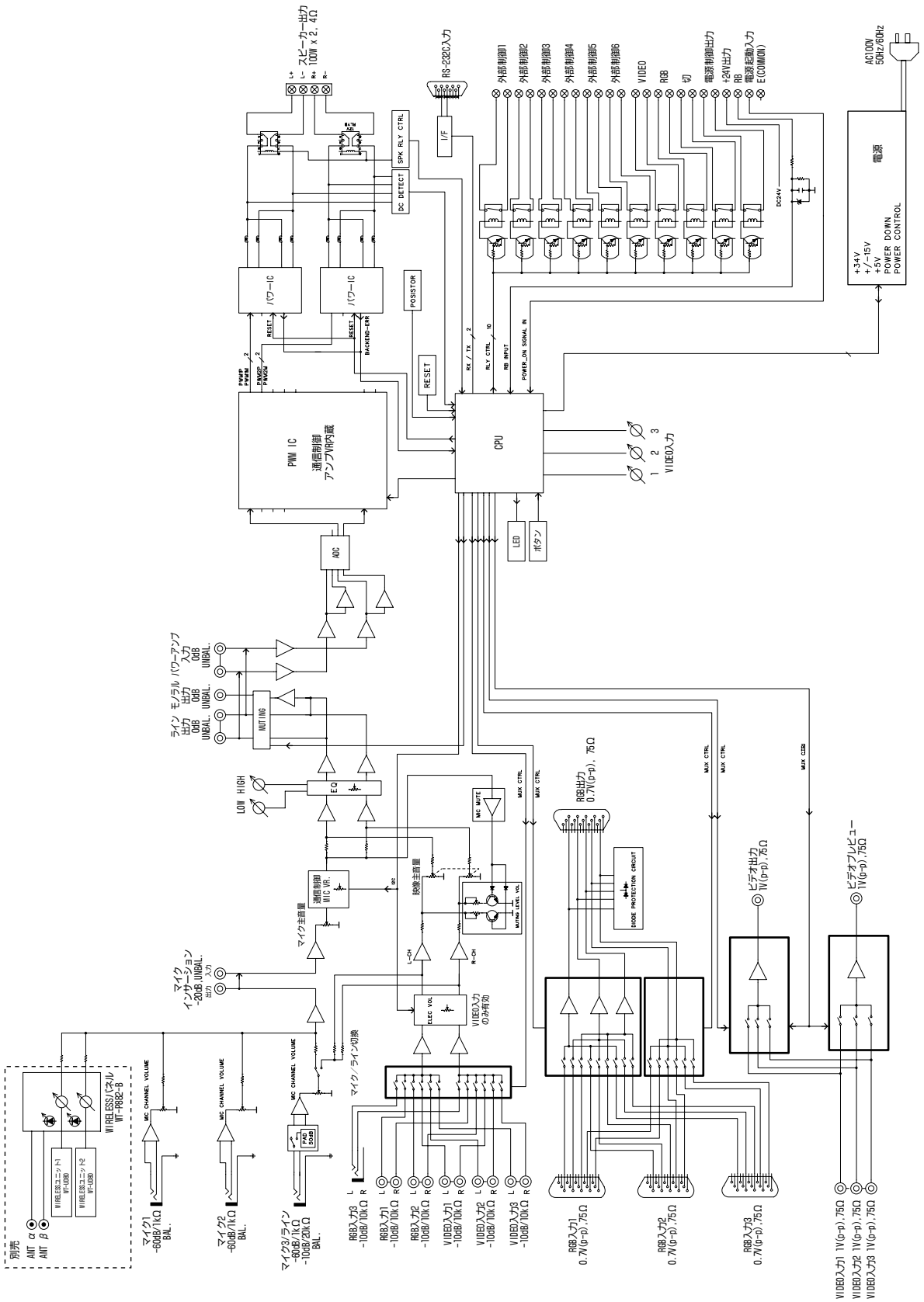
- マイク優先機能を設定した場合、マイクで話すと AV 機器の再生音が自動的に小さくなります。(☞ 14 ページ)

■ 電源を切る



1 [マイク主音量] と「映像主音量」つまみを最小にする
2 本機の電源を切る
3 本機に接続した AV 機器の電源を切る

ブロックダイヤグラム


スピーカー出力
100W x 2, 4Ω
RS-232C入力
外部制御1
外部制御2
外部制御3
外部制御4
外部制御5
外部制御6
VIDEO
RGB
切
電源制御出力
+24V出力
RB
電源起動入力
E(COMMON)
AC100V
50Hz/60Hz
電源
+34V
+/- 15V
+5V
POWER DOWN
POWER CONTROL
I/F
SPK RLY CTRL
DC DETECT
パワーIC
パワーIC
POSISTOR
RESET
BACKING-ERR
RX / TX
RLY CTRL
RB INPUT
POWER_ON SIGNAL IN
PWM IC
通信制御
アンプVR内蔵
CPU
LED
ボタン
VIDEO入力
1 2 3
ADC
ライン モノラル パワーアンプ
入力 0dB UNBAL.
出力 0dB UNBAL.
出力 0dB UNBAL. UNBAL.
MUTING
LOW HIGH
EQ
MIC MUTE
MUX CTRL
MUX CSEL
RGB出力
0.7V(p-p), 75Ω
DIODE PROTECTION CIRCUIT
ビデオ出力
1V(p-p), 75Ω
ビデオプレビュー
1V(p-p), 75Ω
通信制御
MIC VR
マイク主音量
映像主音量
MUTING LEVEL VOL
L-CH
R-CH
ELEC VOL
VIDEO入力
切り替え
マイク
インサーション
-20dB UNBAL.
出力 入力
マイク/ライン切換
MIC CHANNEL VOLUME
PAD 10dB
別売
ANT α
ANT β
WIRELESSユニット1
WT-U080
WIRELESSユニット2
WT-U080
WIRELESS(ペア)
WT-R88Z-B
マイク1
-60dB/1kΩ
BAL.
マイク2
-60dB/1kΩ
BAL.
マイク3/ライン
-60dB/1k Ω
-10dB/20k Ω
BAL.
RGB入力3
-10dB/10k Ω
RGB入力1
-10dB/10k Ω
RGB入力2
-10dB/10k Ω
VIDEO入力1
-10dB/10k Ω
VIDEO入力2
-10dB/10k Ω
VIDEO入力3
-10dB/10k Ω
RGB入力1
0.7V(p-p), 75Ω
RGB入力2
0.7V(p-p), 75Ω
RGB入力3
0.7V(p-p), 75Ω
VIDEO入力1 1V(p-p), 75Ω
VIDEO入力2 1V(p-p), 75Ω
VIDEO入力3 1V(p-p), 75Ω

こんなときは

症状	原因	対応・確認のしかた
電源が入らない	● 電源コードが抜けている。	● 電源コードを確実に差し込む。
電源が切れない	● 外部から電源起動されている。	● 外部からの電源起動を止める。(☞ 8 ページ)
音が出ない	● スピーカーコードがはずれている。 ● 非常遮断になっている。 ([非常遮断] 表示灯が点灯している) ● 保護回路が作動している。 ([非常遮断] 表示灯が点滅している)	● スピーカーコードを接続する。(☞ 10 ページ) ● 非常放送設備を点検する。 ● 長時間大きな音で使用すると、過熱防止回路が働くことがあります。しばらく電源を切り、本体が熱くなくなってからご使用ください。また、本機の放熱が良くなるように設置環境を見直してください。
音が歪む	● 出力音量レベル表示灯が赤く点灯している。	● 表示灯が赤く点灯しないように音量調節をする。(☞ 6 ページ)
有線マイクの音が出ない	● マイクコードが抜けている。 ● マイク音量調節つまみが最小になっている。 ● マイクインサーション端子に接続した機器の電源が入っていない。	● マイクコードを差し込む。(☞ 10 ページ) ● マイク音量調節つまみを調節する。(☞ 7 ページ) ● 接続した機器の電源を入れる。
ワイヤレスマイクの音が出ない	● ワイヤレスチューナーが組み込まれていない。 ● 適合ワイヤレスマイク以外を使用している。 ● マイクとチューナーのチャンネルが合っていない。 ● ワイヤレスマイク音量調節つまみが最小になっている。	● 別売りのワイヤレスチューナーを組み込む。 ● 適合ワイヤレスマイクを使用する。 ● マイクとチューナーのチャンネルを合わせる。(☞ 12 ページ) ● ワイヤレスマイク音量調節つまみを調節する。
マイク 3 の音が出ない	● 背面のマイク / ライン切り換えスイッチが “ – 10 dBs” 側になっている。	● マイク / ライン切り換えスイッチを “ – 60 dBs” 側にする。
映像が出ない	● ビデオ出力端子または RGB 出力端子、ビデオプレビュー端子から映像コードがはずれている。 ● 映像切り機能が働いている。 ([映像 切] 表示灯が点灯している) ● 本機と接続したAV機器が再生されていない。	● 映像コードを接続する。(☞ 10 ページ) ● RGB1 ～ 3 選択ボタン、またはビデオ 1 ～ 3 選択ボタンで映像を選択してください。(☞ 6 ページ) ● AV 機器を再生する。(☞ 15 ページ)
[非常遮断] 表示灯が点滅している	● 加熱防止回路が働いている。 ● スピーカーコードが短絡している。	● 本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。 それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店または別紙のサービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望ににより有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	：AV ミキシングアンプ
品番	：PS-M400P
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

■ 音声入力

マイク 1、2　：− 60 dBs/1 kΩ、電子平衡、
φ6.3 複式フォンジャック

マイク 3/ ライン：− 60 dBs/1 kΩ、− 10 dBs/20 kΩ 切換、
電子平衡、φ6.3 複式フォンジャック

ビデオ 1、2　：− 10 dBs/10 kΩ、不平衡、
ピンジャック× 2

ビデオ 3　：− 10 dBs/10 kΩ、不平衡、
ピンジャック× 2（前面パネル）

RGB1、2　：− 10 dBs/10 kΩ、不平衡、
ピンジャック× 2

RGB3　：− 10 dBs/10 kΩ、不平衡、
φ3.5 ステレオミニジャック（前面パネル）

マイク　：− 20 dBs/10 kΩ、不平衡、ピンジャック
インサーション

パワーアンプ　：0 dBs/10 kΩ、不平衡、ピンジャック× 2
入力

■ 音声出力

マイク　：− 20 dBs/ 適合負荷 10 kΩ 以上、
インサーション　不平衡、ピンジャック

ライン出力　：0 dBs/ 適合負荷 10 kΩ 以上、不平衡、
ピンジャック× 2

モノラル出力　：0 dBs/ 適合負荷 10 kΩ 以上、不平衡、
ピンジャック

■ 映像入力

ビデオ 1 ～ 3：ピンジャック（ビデオ 3 は前面パネル）

RGB1 ～ 3　：D-SUB15 ピン、メス
（RGB3 は前面パネル）

■ 映像出力

ビデオ　：ピンジャック、1 V（p-p）、75 Ω

ビデオ　：ピンジャック、1 V（p-p）、75 Ω
プレビュー

RGB　：D-SUB15 ピン、0.7 V（p-p）、75 Ω、
メス

■ 外部制御

：外部機器制御出力 6 接点、
プロジェクター制御出力 3 接点、
パワー ON 出力、（最大定格 30 V、100 mA）
電源起動入力、非常時音声遮断入力、
RS-232C（パソコンから本機を制御）

■ 付属機能

：音質調整、ビデオ音声レベル調節× 3、
3 点出力レベル表示、非常時音声遮断、
マイク優先回路（アナウンスミューティング）

■ 一般

電源　：AC 100 V、50 Hz ／ 60 Hz

消費電力　：120 W（電気用品安全法）
310 W（4 Ω 負荷定格出力時）、
180 W（8 Ω 負荷定格出力時）、
2 W（電源「切」時）

質量　：5.5 kg

定格出力　：100 W + 100 W（ 4 Ω、1 kHz）
60 W + 60 W（8 Ω、1 kHz）

周波数特性　：50 Hz ～ 15 kHz 偏差 + 1 dB/ − 3 dB
（ビデオ 1 入力～スピーカー出力、定格出力
より− 10 dB 出力時、1 kHz : 0 dB）

全高調波歪率　：0.5 %以下
（ビデオ 1 入力～スピーカー出力、定格出
力時、1 kHz にて）

仕上げ　：パネル：黒色（マンセル N1 近似）

■ 組込み可能ユニット（別売）

ワイヤレスチューナーユニット
：WT-UD80 × 2

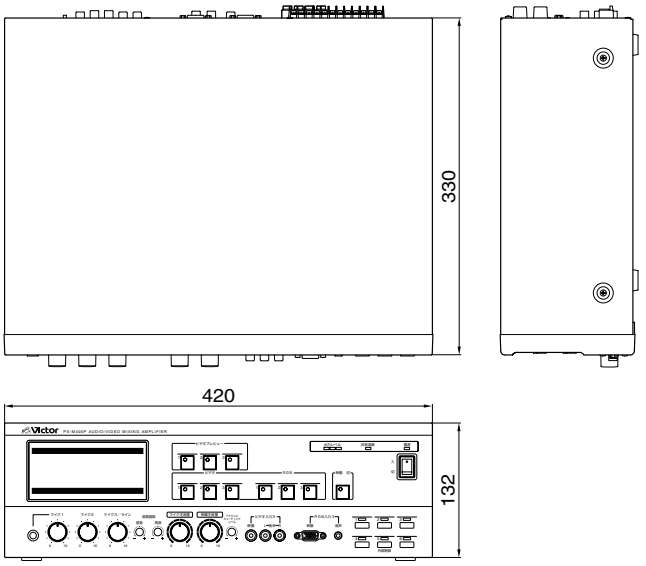
ワイヤレスチューナーパネル
：WT-P882-B

ラックマウント金具
：PS-RU13

■ 添付物・付属品：

取扱説明書 1
保証書 1
ビクターサービス窓口案内 1
ラベル 1
安全上のご注意 1

■ 外形寸法図［単位：mm］



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

PS-M400P　AVミキシングアンプ

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950［代表］

FAX (045)450-2275

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（042）660-7203

© 2008 Victor Company of Japan, Limited

LST0683-001A